

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

茶樹におけるカンザワハダニの発生状況および防除対策（技術情報第15号）
について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、参考資料として御活用ください。

記

1 発生の概要

- (1) 10月の巡回調査では、寄生葉率33.8%（平成19年1.9%）、発生ほ場率70%と平成19年比多の発生であった。8月までの巡回調査では、平成19年比やや少であったが9月以降好天に経過し、10月は過去10年で最も多い発生となった（図1・2）。
- (2) 病虫害防除員からの報告では、10月の発生はやや多であった。

2 防除対策

カンザワハダニは、晩秋から早春にかけて樹幹の内部や裾部で越冬し、越冬が多いと一番茶期に多発生することから越冬前の防除を徹底する。

防除は、越冬前の11月末から12月上旬に樹冠の内部にも十分薬液が付着するように丁寧にマシン油乳剤を散布する。

問い合わせ先

熊本県農業研究センター
生産環境研究所病虫害研究室
予察指導係（病虫害防除所）
担当：山田

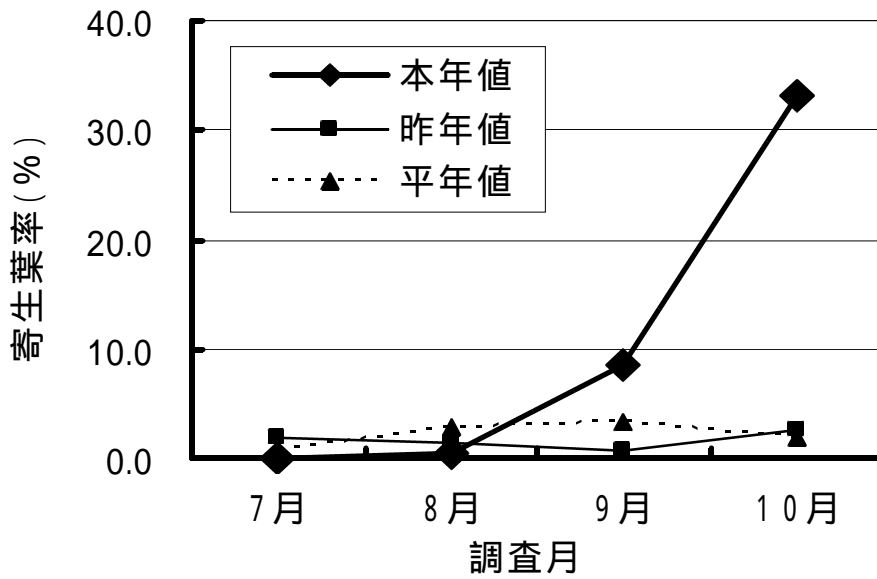


図1 カンザワハダニの月別発生状況（平成21年度）

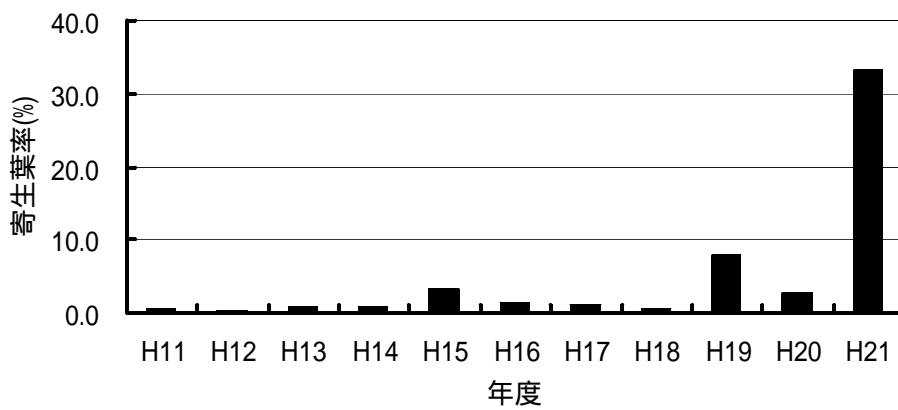


図2 10月の巡回調査におけるカンザワハダニの年度別発生状況